



6/3 車両の一時避難場所に 災害時における施設利用に関する協定

市は(有)シュシュと、災害時における車両一時避難場所としての施設利用に関する協定を締結。豪雨災害時には、周辺の住民が「おおむら夢ファームシュシュ」を車両一時避難場所として利用できます。



5/9 早期4車線化の実現を目指して 国道34号大村・諫早間整備促進期成会総会

「国道34号大村・諫早間整備促進期成会」の総会を開催しました。令和4年度事業計画が承認されたほか、今後本格化する用地取得や工事の連絡調整の円滑化などを目的に、拡幅推進支援本部を設置したことを報告しました。



6/8 市内幹線道路の整備促進を要望 国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会は、国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所と長崎県に対し、国道34号大村諫早拡幅をはじめとする幹線道路の整備促進などについて要望活動を行いました。



5/16 梅雨や台風に備えて 防災関係機関合同危険箇所状況視察

市と県央振興局、消防署、警察署、消防団が合同で災害危険箇所を視察しました。令和2年7月の大雨で護岸が崩れた佐奈河内川や野田川、急傾斜地の崩壊箇所を訪れ、復旧状況や現在の状況を確認しました。



6/8 県政に対して要望活動 県の施策に関する要望

市長や市議会議長はじめ、地元選出県議会議員などが県庁を訪れ、県知事に対し、県の施策に関する15項目を要望しました。また、県議会議長に対しても同様に要望活動を行いました。



5/25 中学生のオンライン交流が決定 天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議

天正遣欧少年使節にゆかりのある5市1町の首長会議を開催し、令和4年度の国内交流事業などを決定しました。交流事業では、各市町から4人ずつ中学生を募り、各市町ゆかりの人物や歴史についての学びを通じて交流を深めます。